

授 業 概 要

(社会福祉科)

授業科目名 社会福祉士国家試験対策ゼミ		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 名地 宙	実務経験	・病院・介護老人保健施設・デイサービス等において、ソーシャルワーカーとして勤務。ご利用者・ご家族からの相談及びサービス提供、各関係専門機関との連携・調整業務を担当。 ・若者サポート支援センターにて、相談員として勤務。ご利用者からの相談、各専門プログラムの提供、就労定着支援業務を担当。	
授業の回数 30回	時間数(単位数) 60時間(2単位)	配当学年・時期 専攻科1年・後期	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける [授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。 [授業終了時の達成課題(到達目標)] 1 過去問題が解けるようになる			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1. 地域福祉と包括的支援体制 2. 地域福祉と包括的支援体制 3. 過去問等演習 4. 地域福祉と包括的支援体制 5. 地域福祉と包括的支援体制 6. 過去問等演習 7. 地域福祉と包括的支援体制 8. 福祉サービスの組織と経営 9. 福祉サービスの組織と経営 10. 過去問等演習 11. 福祉サービスの組織と経営 12. 福祉サービスの組織と経営 13. 過去問等演習 14. 福祉サービスの組織と経営 15. 児童・家庭福祉		16. 児童・家庭福祉 17. 過去問等演習 18. 児童・家庭福祉 19. 児童・家庭福祉 20. 過去問等演習 21. 児童・家庭福祉 22. 貧困に対する支援 23. 貧困に対する支援 24. 過去問等演習 25. 貧困に対する支援 26. 過去問等演習 27. 貧困に対する支援 28. 過去問等演習 29. 貧困に対する支援 30. 国家試験対策DVD視聴 期末考査	
[使用テキスト・参考文献]	①『社会福祉士国家試験のためのレビューブック』、 発行：(株)メディック・メディア ISBN978-4-89632-763-2 ②『クエスチョンバンク 社会福祉士国家試験問題解説』 発行：メディック・メディア		

	ISBN978-4-89632-764-9 ③『目で見て覚える 社会福祉士国試ナビ』 発行：中央法規 ISBN978-4-8058-5881-3
[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none"> ・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) <ul style="list-style-type: none"> ・到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。 2. 平常点(15%) <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況では、居眠りをしているか授業に積極的に参加しているかについて評価する (10%) ・提出課題がある場合において、期日までに提出されているかを重点に評価する (5%)

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 国試対策ゼミ		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)		
授業担当者 川本 公代		実務経験	訪問介護員 4年 ディスクゴルフ指導員 3年 レクリエーション・インストラクター 21年	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 1年・後期	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)	
[授業の目的・ねらい] ・高齢者に対する支援と介護保険制度の基礎を再確認し、応用力をつける。 ・相談援助の基盤と専門職・相談援助の理論と方法について復習し、さらに応用力をつける。 [授業全体の内容の概要] ・各教科の基本的事項を復習する。 ・問題にチャレンジして答え合わせをしながら正しい解答を覚える。 ・繰り返し問題を解いて解き方を習得する。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・模擬試験に結果を出す。 ・過去問題・模擬問題を確実に解くことができる。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数				
1. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 2. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 3. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 4. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 5. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 6. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 7. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 8. ソーシャルワークの基盤と専門職 復習 9. ソーシャルワークの基盤と専門職 模擬問題 10. ソーシャルワークの基盤と専門職 模擬問題 11. ソーシャルワークの基盤と専門職 模擬問題 12. 模擬問題 解説 13. ソーシャルワークの理論と方法 復習 14. ソーシャルワークの理論と方法 復習 15. ソーシャルワークの理論と方法 復習 16. ソーシャルワークの理論と方法 復習		18. ソーシャルワークの基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 19. ソーシャルワークの基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 20. ソーシャルワークの基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 21. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 22. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 23. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 24. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 25. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 26. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 27. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 28. 重要事項復習 29. 重要事項復習 30. 重要事項復習 31. 期末考査		

17. ソーシャルワークの理論と方法 復習	
[使用テキスト・参考文献]	社会福祉士国試のためのビューブック 2021 模擬試験過去問題
[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none"> ・教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。 2. 平常点(15%) ・時間内の模擬テストにおいて、到達目標の7割以上に達している点を評価する (15%)。

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 社会福祉士国家試験対策ゼミ		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)																																													
授業担当者 高橋 洋美	実務経験	高齢者施設にて生活相談員 3 年、歯科衛生士 3 年																																													
授業の回数 21 回	時間数 (単位数) 60 時間 (2 単位)	配当学年・時期 1 年・通年	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)																																												
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける [授業全体の内容の概要] 授業資料を用いて解説し、国家試験の過去問題を解き、その解説を行う。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 国家試験の過去問題を解き、理解することができる。																																															
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]																																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">回数</th> <th style="width: 90%;">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>保健医療と福祉①</td></tr> <tr><td>2</td><td>医学概論①</td></tr> <tr><td>3</td><td>高齢者福祉①</td></tr> <tr><td>4</td><td>保健医療と福祉②</td></tr> <tr><td>5</td><td>医学概論②</td></tr> <tr><td>6</td><td>高齢者福祉②</td></tr> <tr><td>7</td><td>保健医療と福祉③</td></tr> <tr><td>8</td><td>医学概論③</td></tr> <tr><td>9</td><td>高齢者福祉③</td></tr> <tr><td>10</td><td>保健医療と福祉④</td></tr> <tr><td>11</td><td>医学概論④</td></tr> <tr><td>12</td><td>高齢者福祉④</td></tr> <tr><td>13</td><td>保健医療と福祉⑤</td></tr> <tr><td>14</td><td>医学概論⑤</td></tr> <tr><td>15</td><td>高齢者福祉⑤</td></tr> <tr><td>16</td><td>保健医療と福祉⑥</td></tr> <tr><td>17</td><td>医学概論⑥</td></tr> <tr><td>18</td><td>高齢者福祉⑥</td></tr> <tr><td>19</td><td>保健医療と福祉⑦</td></tr> <tr><td>20</td><td>医学概論⑦</td></tr> <tr><td>21</td><td>高齢者福祉⑦</td></tr> </tbody> </table>				回数	内 容	1	保健医療と福祉①	2	医学概論①	3	高齢者福祉①	4	保健医療と福祉②	5	医学概論②	6	高齢者福祉②	7	保健医療と福祉③	8	医学概論③	9	高齢者福祉③	10	保健医療と福祉④	11	医学概論④	12	高齢者福祉④	13	保健医療と福祉⑤	14	医学概論⑤	15	高齢者福祉⑤	16	保健医療と福祉⑥	17	医学概論⑥	18	高齢者福祉⑥	19	保健医療と福祉⑦	20	医学概論⑦	21	高齢者福祉⑦
回数	内 容																																														
1	保健医療と福祉①																																														
2	医学概論①																																														
3	高齢者福祉①																																														
4	保健医療と福祉②																																														
5	医学概論②																																														
6	高齢者福祉②																																														
7	保健医療と福祉③																																														
8	医学概論③																																														
9	高齢者福祉③																																														
10	保健医療と福祉④																																														
11	医学概論④																																														
12	高齢者福祉④																																														
13	保健医療と福祉⑤																																														
14	医学概論⑤																																														
15	高齢者福祉⑤																																														
16	保健医療と福祉⑥																																														
17	医学概論⑥																																														
18	高齢者福祉⑥																																														
19	保健医療と福祉⑦																																														
20	医学概論⑦																																														
21	高齢者福祉⑦																																														
[使用テキスト・参考文献]		メディックメディア『社会福祉士国家試験のためのレビューブック 2025』																																													
[単位認定の方法及び基準]		・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) 期末考查により算出する。 2. 平常点(15%) 授業での発言や参加態度を評価する。 ※後期は模擬試験の結果で評価する。																																													

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 実習課題・記録作成		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 高橋 洋美	実務経験	高齢者施設にて生活相談員 3 年、歯科衛生士 3 年	
授業の回数 30 回	時間数 (単位数) 60 時間 (2 単位)	配当学年・時期 2 年・通年	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] 社会福祉援助技術・現場実習の整理・卒業試験準備を行う。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・社会福祉援助技術・現場実習が滞りなく実施できるように、実習ノート整理を行う。 ・社会福祉援助技術・現場実習の報告ができる。 [授業全体の内容の概要] ・主体的な学びを軸として実習ノートを完成させる。 ・実習を振り返り、報告会の準備を行う。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・適切な自己表現ができる。 ・自分の考えをまとめ、相手にわかるように発表できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15 回までの場合はセル結合)			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] 第 1 回 卒業試験準備 第 2 回 卒業試験準備 第 3 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 4 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 5 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 6 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 7 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 8 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 9 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 10 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 11 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理		第 16 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 17 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 18 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 19 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 20 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 21 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 22 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 23 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 24 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理 第 25 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習ノート整理	

<p>第 12 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習 ノート整理</p> <p>第 13 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習 ノート整理</p> <p>第 14 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習 ノート整理</p> <p>第 15 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習 ノート整理</p>	<p>第 26 回 社会福祉援助技術・現場実習、実習 ノート整理</p> <p>第 27 回 実習報告会準備</p> <p>第 28 回 実習報告会準備</p> <p>第 29 回 実習報告会準備</p> <p>第 30 回 実習報告会準備</p>
<p>[使用テキスト・参考文献]</p>	<p>東北福祉大学社会福祉援助技術現場実習 課題ノート・実習ノート</p>
<p>[単位認定の方法及び基準]</p>	<p>・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 考查点(85%) 期末考查により算出する。 2. 平常点(15%) 授業での発言や参加態度を評価する。

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 社会福祉援助技術現場実習前指導Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 高橋 洋美	実務経験	高齢者施設にて生活相談員 3 年、歯科衛生士 3 年	
授業担当者 川本 公代	実務経験	訪問介護員 4 年 ディスクゴルフ指導員 3 年 レクリエーション・インストラクター 20 年	
授業の回数 16 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・時期 2 年・前期	(必修 ・ 選択)
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する援助の必要性に対し、クライアントと向き合い支援していく技術を把握する。 ・現代のソーシャルワークに求められている基礎的な技術の習得をグループワークの中で体験的に学ぶ。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学びを軸として適切な自己表現ができるよう、グループワークや振り返りを実施する。 ・事例に沿ってソーシャルワークの過程を体験する。 ・ワークシートを使用して各実習過程を考察する <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・援助過程のインテークからターミネーションまで求められる技術や心構えを説明できる。 ・自分の考えを大切にしながら他者の考えを理解し、活かしていく術を会得する。 ・各実習過程における課題について振り返ることができる。 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]			
1. ワークシートを用いた実習の理解 2. ワークシートを用いた実習の理解 3. ワークシートを用いた実習の理解 4. ソーシャルワーカーの価値と倫理 5. 情報管理 6. 期末考査 7. 実習に関するマナー① 8. 実習に関するマナー②		9. 差別意識・権力・認知の歪みを自覚する 10. 主体性とコミュニケーション能力 11. 実習におけるスーパービジョン 12. 実習中に起こる問題 13. 実習記録の目的と書き方① 14. 実習記録の目的と書き方② 15. 実習記録の目的と書き方② 16. 事後学習	
[使用テキスト・参考文献]	星和書店『スモールステップで学ぶソーシャルワーク実習・テキスト&ワークブック』		
[単位認定の方法及び基準]	<ul style="list-style-type: none"> ・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考査点(85%) 期末考査により算出する。 2. 平常点(15%) 授業での発言や参加態度を評価する。 		

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 社会福祉士国家試験対策 I		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 川本 公代		実務経験 訪問介護員 4年 ディスクゴルフ指導員 3年 レクリエーション・インストラクター 21年	
授業の回数 60回	時間数 (単位数) 120時間 (4単位)	配当学年・時期 2年・通年	(必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] ・ ソーシャルワークの基盤と専門職の基礎を再確認し、応用力をつける。 ・ ソーシャルワークの理論と方法について基礎を再確認し、応用力をつける。 ・ ソーシャルワーク相談援助の基盤と専門職・相談援助の理論と方法について復習し、さらに応用力をつける。 [授業全体の内容の概要] ・ 各教科の基本的事項を復習する。 ・ 問題にチャレンジして答え合わせをしながら正しい解答を覚える。 ・ 繰り返し問題を解いて解き方を習得する。 授業終了時の達成課題 (到達目標) ・ 過去問題・模擬問題を確実に解くことができる。 ソーシャルワークの基盤と専門職 7割正解 相談援助理論と方法 8割正解			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1. 1 ソーシャルワークの形成過程 イギリス 2. ソーシャルワークの形成過程 アメリカ 3. ソーシャルワークのグローバル定義 4. ソーシャルワークの主な機能・研究者 5. 社会福祉士及び介護福祉士法 6. 認定社会福祉士制度 7. 社会福祉士の倫理綱領・行動規範 8. 人と環境の交互作用 様々な実践モデルとアプローチ 1 9. 様々な実践モデルとアプローチ 2 10. 様々な実践モデルとアプローチ 3 11. 相談援助の展開過程 インテーク～アフターケア 12. ケアマネジメント アセスメントツール 13. 効果測定 記録の文体 ICTの活用 14. 相談援助における援助関係 15. 面接技術 面接の留意点 16. バイステックの7原則 17. 社会資源の活用・調整・開発 18. ネットワーキング ソーシャルサポートネットワーク 19. グループワークにおける展開過程 グループダイナミックス	38. 模擬問題 答練 39. 40. 41. 42. 43. 過去問題・模擬問題答練・解説 44. 過去問題・模擬問題答練・解説 45. 過去問題・模擬問題答練・解説 46. 過去問題・模擬問題答練・解説 47. 過去問題・模擬問題答練・解説 48. ソーシャルワークの基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 49. ソーシャルワークの基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 50. ソーシャルワークの基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 51. ソーシャルワークの基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説 52. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 53. ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説 54. 相ソーシャルワークの理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説		

<p>20. コノプカのグループワーク セルフヘルプ</p> <p>21. スーパービジョン コンサルテーション</p> <p>22.</p> <p>23.</p> <p>24. 25. 26. 介護保険制度2 被保険者と保険者 関係機関とその役割</p> <p>27.</p> <p>28.</p> <p>29</p> <p>30</p> <p>31.</p> <p>32.</p> <p>33.</p> <p>34. 期末考査</p> <p>35.</p> <p>36.</p> <p>37.</p>	<p>55. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>56. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>57. 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説</p> <p>58. 重要事項復習</p> <p>59. 重要事項復習</p> <p>60. 重要事項復習</p> <p>61. 重要事項復習</p> <p>62. 重要事項復習</p> <p>63. 重要事項復習</p> <p>64. 重要事項復習</p> <p>65. 重要事項復習</p> <p>66. 模擬試験</p>
<p>[使用テキスト・参考文献]</p>	<p>社会福祉士国試のためのレビューブック 2021 模擬試験過去問題</p>
<p>[単位認定の方法及び基準]</p>	<p>・教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。</p> <p>1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。</p> <p>2. 平常点(15%) ・時間内の模擬テストにおいて、到達目標の7割以上に達している点を評価する(15%)。</p>

<p>[使用テキスト・参考文献]</p>	<p>①『社会福祉士国家試験のためのレビューブック』、 発行：(株) メディック・メディア ISBN978-4-89632-763-2</p> <p>②『クエスチョンバンク 社会福祉士国家試験問題解説』 発行：メディック・メディア ISBN978-4-89632-764-9</p> <p>③『目で見て覚える 社会福祉士国試ナビ 』 発行：中央法規 ISBN978-4-8058-5881-3</p>
<p>[単位認定の方法及び基準]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) <ul style="list-style-type: none"> ・到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。 2. 平常点(15%) <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況では、居眠りをしているか授業に積極的に参加しているかについて評価する (10%) ・提出課題がある場合において、期日までに提出されているかを重点に評価する (5%) <p>・専攻科 2 年は模擬試験の点数により評価</p>

<p>[使用テキスト・参考文献]</p>	<p>①『社会福祉士国家試験のためのレビューブック』、 発行：(株) メディック・メディア ISBN978-4-89632-763-2</p> <p>②『クエスチョンバンク 社会福祉士国家試験問題解説』 発行：メディック・メディア ISBN978-4-89632-764-9</p> <p>③『目で見て覚える 社会福祉士国試ナビ 』 発行：中央法規 ISBN978-4-8058-5881-3</p>
<p>[単位認定の方法及び基準]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) <ul style="list-style-type: none"> ・到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考查により算出する。 2. 平常点(15%) <ul style="list-style-type: none"> ・授業への参加状況では、居眠りをしているか授業に積極的に参加しているかについて評価する (10%) ・提出課題がある場合において、期日までに提出されているかを重点に評価する (5%) <p>・専攻科 2 年は模擬試験の点数により評価</p>

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		授業の種類 (<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 川本 公代		実務経験 訪問介護員 4年 ディスクゴルフ指導員 3年 レクリエーション・インストラクター 21年	
授業の回数 16回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・前期	(<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助の展開過程を順序立てて理解しそのポイントを把握する ・ 利用者との信頼関係の構築の方法と必要な技術を学ぶ ・ さまざまなアプローチ方法を知りその特徴を捉える [授業全体の内容の概要] <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助の展開過程における専門職としての役割を理解する ・ 相談援助とアプローチ法との関係を理解する [授業終了時の達成課題 (到達目標)] <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談援助の展開過程のそれぞれの段階の重要点を説明することができる ・ 傾聴の意味を説明できて面接技術のポイントを実際に示すことができる ・ アプローチ法を具体的に説明できる 			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 (15回までの場合はセル結合)			
1. 相談援助の展開過程①ニーズ発見～インテーク (かかわり技法) 2. 相談援助の展開過程②インテーク～アセスメント (エコマップ) 3. 相談援助の展開過程③アセスメント～プランニング 4. 相談援助の展開過程④アセスメント～エバリュエーション 5. 面接技術 (DVD) 6. 面接技術		7. グループを活用した相談援助 8. さまざまな実践モデルとアプローチ① 9. さまざまな実践モデルとアプローチ② 10. さまざまな実践モデルとアプローチ③ 11. スーパービジョンとコンサルテーション 12. 相談援助における個人情報の保護 13. 相談援助の実際 事例 14. 相談援助の実際 事例 15. 相談援助の実際 事例 16. 期末考査	
[使用テキスト・参考文献]		相談援助の理論と方法Ⅰ・Ⅱ 中央法規	
[単位認定の方法及び基準]		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 考查点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。 2. 平常点(15%) <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%) ・ 提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。 	

授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業科目名 ソーシャルワーク演習Ⅱ		授業の種類 (講義 ・ 演習 ・ 実習)	
授業担当者 川本 公代		実務経験 訪問介護員 4年 ディスクゴルフ指導員 3年 レクリエーション・インストラクター 21年	
授業の回数 16回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・前期	(必修 ・ 選択)
[授業の目的・ねらい] ・これまで学んできた理論を基に専門職として実際の援助場面で活用していくためのスキルを主体的に学ぶ。 [授業全体の内容の概要] ・事例を理解し、グループで互いの考え方を知り意見交換を経て相談援助者にふさわしい資質を向上させる。高齢者との関わり方を学ぶ。 [授業終了時の達成課題 (到達目標)] ・事例研究から自分の考えを述べることができ、他者の考え方を理解できる。 ・ソーシャルワーク実践における主要な技術を習得する。 ・ソーシャルワークの過程における相談援助者の果たすべき役割を説明できる。			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数			
1. 多様性の理解 2. グループの理解 3. ネゴシエーション 4. ファシリテーション 5. スーパービジョン 6. 高齢者支援 準備 7. 高齢者支援 8. 高齢者支援		9. 地域の理解 10. ソーシャルアクション 11. 社会資源開発 12. インテーク・アセスメント 13. アウトリーチ 14. プランニング・モニタリング 15. エバリュエーション・ターミネーション 16. 期末考査	
[使用テキスト・参考文献]		学生・教員・実践者のためのソーシャルワーク演習 ミネルヴァ書房	
[単位認定の方法及び基準]		・教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。 1. 査点(85%) 到達目標の修得状況を測るために、各回で実施した確認テストを編集した期末考査により算出する。 2. 平常点(15%) ・授業への参加状況では発言回数が複数回である点を評価する。(5%) ・提出課題において、到達目標の6割以上に達している点を評価する(10%)。	